

2026 年度 Jミルク事業における第 2 回事業協力者関連事業

事業 No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画・応募にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	国産牛乳乳製品の需要拡大に向けた「牛乳でスマイルプロジェクト」の全国的な酪農乳業関係者等による活動促進と消費者向けプロモーション事業	酪農乳業が安定的に牛乳乳製品を供給し続けるには、酪農家が安心して生産を継続できるよう、安定した需要の確保が不可欠である。本事業では、全国の酪農乳業関係者による取り組みを「牛乳でスマイルプロジェクト」の一環として統一的に位置付け、情報共有・可視化・連携促進のための基盤整備を行うとともに、消費者へのプロジェクトの認知向上および酪農・国産乳製品への理解醸成を図る広報活動を展開する。	<p>本事業は、牛乳・乳製品の需要拡大に向け、「牛乳でスマイルプロジェクト」のもとで全国の酪農乳業関係者が一体となった継続的かつ効果的な取り組みを推進することを目的とし、全国の酪農乳業やプロジェクトメンバー(以下、関係者)による全国各地の活動を収集及びポータルサイト(※)への掲載を中心とした可視化によって情報発信を向上させる。</p> <p>また、生産者、乳業者、販売事業者等による関係者間の連携を強化し、全国で実施されている関係者による活動をつなぎ、面的に広がるような横の連携を図るとともに、異業種コラボレーションによる「利用シーン」や「利用方法」の拡充など、牛乳乳製品の需要拡大において実需に結び付く支援としてマッチングを推進する。</p> <p>なお、ポータルサイトや SNS を活用した情報集約・発信機能の充実により、消費者に対して牛乳・乳製品の価値や魅力を効果的に伝えるとともに、KPI 指標に基づく評価・分析と PDCA サイクルによる改善施策の策定を行うこと、また、関係者に導入を提案することで、実効性の高い施策の横展開と定着を図り、需給課題の解決と持続的な需要創出につなげる。</p> <p>【参考】 牛乳でスマイルプロジェクトについて https://smile.j-milk.jp/</p> <p>(1) 牛乳でスマイルプロジェクト全体の企画・運営(戦略的展開)</p> <p>① 本プロジェクトの目的達成に向け、全国の関係者を巻き込んだ需要拡大活動を戦略的に推進するプロジェクト事務局を運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者間の連携促進およびコラボレーションの企画提案やマッチングによる伴走支援 全国で実施されるイベント・キャンペーン等の活動について調査・管理しサイトへ掲載。AI 機能を活用した自動抽出など作業の効率化も図る仕組みも構築。 本プロジェクトに参画する関係者の拡大および登録・管理等 関係者の活動における共通ロゴ・SNS ハッシュタグの活用促進施策の立案と展開 「牛乳の日・牛乳月間」や学校の休み期間の不需要期などにおいて共通テーマの下で集中的に行う取組の推進 上記の戦略立案および PDCA サイクルによる改善運用 <p>② KPI 評価・分析</p> <p>活動の可視化と改善につなげるため、KPI に基づく調査・分析を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> KPI 指標の設定および進捗管理 関係者への調査による活動実態および事例の収集 データ分析による効果検証 優良事例の抽出および横展開の提案 	5～3 月	酪農乳業関係者、牛乳でスマイルプロジェクトメンバー、消費者	酪農乳業界が一体となって推進する取り組みの可視化と、関係者間の連携強化による牛乳・乳製品の新たな利用場面やコラボ商品の創出につながる提案 ・「牛乳でスマイルプロジェクト」が持つ社会的意義や参加価値を広く発信し、生活者との共感・信頼を育むこと	<p>(1)全国規模のプロジェクトにおいて、企画立案から実施、運営管理まで一体的に遂行できる体制・実績を有すること。多様な関係者(生産者、企業、団体等)との連携・調整およびマッチング支援を円滑に行え、戦略立案および PDCA サイクルに基づく事業改善を実行できる能力を有すること</p> <p>(2)KPI に基づく調査設計、データ収集および分析を実施できること</p> <p>(3)全国の活動事例の収集・評価を行い、改善提案につなげられる能力を有し、優良事例の抽出および効果的な発信とともに、全国規模の表彰制度の企画・運営実績を有し、募集、審査、報告会等を含む一連の運営を適切に実施できること。</p> <p>(4)ポータルサイトの企画・運営、機能改善およびコンテンツ拡充を実施できること。</p> <p>(5)AI 等を活用した情報処理・機械学習・マッチング機能の開発および実装に関する知見・実績を有すること。</p> <p>(6)事務局機能を担い、関係者支援(伴走支援、問い合わせ対応、登録管理等)を継続的に実施できる体制を有すること。</p> <p>(7)メディアプロモートや Web 広告および SNS(X、Instagram 等)を活用した効果的なプロモーションの企画・実施能力を有すること</p> <p>(8)共通ロゴやハッシュタグ、Jミルクや関係団体の既存コンテンツ等を活用した統一的な情報発信の推進ができること</p>	80,000

			<p>(2) ポータルサイトの企画・運営および機能強化</p> <p>① 業界の需要拡大活動のプラットフォームとしてのポータルサイトの機能拡充と利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者により伝わりやすいサイト構造や情報カテゴリー等の改善(イベント・ニュース情報へのアクセス、表示方法等) ・ 消費者・関係者それぞれによるサイト情報を活用促進する新規機能追加および既存機能の改善 ・ 関係者情報登録・更新を含めた継続的な運用管理 ・ AI 活用による情報集約・関係者間のマッチング機能の強化 ・ 全国の活動情報の収集・整理を行う情報処理プログラムの開発 ・ 上記に関連した情報をポータルサイトへ掲載・更新 <p>② Web コンテンツ企画・制作および SNS 運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者接点の強化に向け、魅力的なコンテンツ開発と発信。 ・ 季節や需給課題への対応として、「牛乳の日・牛乳月間」、季節(夏、冬、春などの長期休暇期間等)に応じた特集ページの企画・制作。 ・ 全国で開催される牛乳乳製品の料理コンクールなどの活動や、価値情報、レシピ等の各種情報等からの分類により関係者が活用しやすいコンテンツ開発と発信。 ・ 公式 SNS アカウントの投稿企画、コンテンツ制作、関係者アカウントとの連携施策の企画や実施 <p>(3) プロモーションの実施</p> <p>需要喚起を図るため、メディアへの PR 活動やデジタルメディアを中心としたサイト情報の活用につなげる効果的な情報発信と必要に応じて支援ツールの整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メディア広報活動としてメディアリリースの具体的な施策について企画・実施 ・ Web 広告等を活用したプロモーションの企画・実施 ・ 必要に応じて関係者が活用可能な広報ツール(素材、テンプレート等)の開発・提供 ・ ポータルサイトと連動した情報発信施策の企画・実施 ・ 成果を上げた取り組みの抽出による優良事例報告会・表彰式の企画・運営 <p>【参考】</p> <p>「牛乳でスマイルプロジェクト」ポータルサイト https://smile.j-milk.jp/ X・Instagram 公式アカウント https://x.com/milksmile_pj https://www.instagram.com/milksmile_pj/</p>			<p>と。消費者に分かりやすく訴求するコンテンツ企画・制作能力を有すること。</p>	
--	--	--	--	--	--	--	--

2	「牛乳でスマイルプロジェクト」のもとの消費者向けイベントの実施	<p>国産牛乳・乳製品の需要拡大に向け、「牛乳でスマイルプロジェクト」メンバーをはじめとする全国の酪農乳業関係者同士による活動での横の連携や異業種も含めてコラボレーションを一体的に促進。</p>	<p>全国の酪農乳業関係者が一体となって国産牛乳・乳製品の社会的な価値や魅力を高め、全国各地での関係者による需要拡大に向けた活動を展開していく上で1(1)②のプロモーションに加えてPR イベントとして行う、「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加するメンバー(以下、「本プロジェクトメンバー」との連携において企画・出展者募集・集客・運営・広報を一貫して行う。実施にあたっては、東京都内の会場で2026年10月の土日・祝日のうち1日開催で行うものとし、子どもとその保護者、若年者層を中心とし、幅広い対象を中心に約3万人の生活者を動員して実施。雨天時にも実施できる会場も候補として提案する。</p> <p>また、本イベントを開催するにあたっては、全国各地の生産者、乳業者、牛乳販売店等の酪農乳業関係者によるイベントへのかかわりを通して横の連携を強化する内容とするほか、業界関係者以外の本プロジェクトメンバー(食品・飲料、小売・流通、外食・中食等の企業・団体ほか、自治体・教育機関など)とのコラボレーションによる、新たな牛乳乳製品の利用シーン拡充や利用方法の提案なども含めたイベント企画とする。</p> <p>その際に、牛乳の不需要期(冬期)における消費拡大活動の起点となる位置づけも付与しつつ、異業種とのコラボ企画を含め、全国各地の牛乳乳製品の価値や魅力を体感でき、子どもへの食育を踏まえた親子向けの体験的な学びや、若年層などが楽しみながら牛乳乳製品の新たな価値や魅力の発見を促すなど、幅広い世代の来場者にイベント参画意欲を持たせるようなイベントコンセプトのイメージを工夫して実施する。</p> <p>また、イベントのメディア露出やSNS等を活用した広報・PR活動も展開し、イベント参加者・来場者だけでなく、全国の関係者による取り組みでも活用できる汎用性をもち、より広範な生活者層への波及効果を図る。</p> <p>業務は、イベント企画、運営事務局、集客、会場の借上及びブース等設置、使用ツール制作及び印刷、広告宣伝などの広報活動。</p> <p>【参考】 牛乳でスマイルプロジェクトについて https://smile.j-milk.jp/ 牛乳でスマイルプロジェクトの参加メンバー https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/project_member.html 牛乳でスマイルプロジェクト ミルクフェス in 豊洲 2025 https://milkfes2025.jp/</p>	5~3月	子どもとその保護者層、若年者層を中心に幅広い世代の生活者	社会課題や消費ニーズも踏まえた牛乳・乳製品や酪農乳業の多様な価値	<p>(1)本事業は、牛乳・乳製品の魅力発信と需要拡大を目的としたイベントの企画・運営を総合的に実施するものである。計画・準備段階から、生産者や乳業者、販売店、本プロジェクトメンバーへのヒアリングの場を設け、現場の声を反映した企画とする。</p> <p>(2)イベントの基本計画では、企画コンセプトや実施方針をはじめ、会場構成、ゾーニング、動線、進行、広報、運営・危機管理体制等を体系的に整理し、来場者に魅力が伝わるストーリー性のある内容とする。イベントは「牛乳でスマイルプロジェクト」メンバーのブース出展を中心に、業界内外の連携やコラボレーションを促進し、出展者の参画意欲を高める設計とすること。</p> <p>(3)会場設計はレイアウトや装飾、サイン、受付、展示、休憩スペース、冷蔵冷凍設備等を適切に設計し、制作から設営・撤去まで一体的に対応する。安全性と回遊性に配慮した分かりやすい空間とし、SNS拡散を意識した仕掛けにより情報発信効果を高めること。</p> <p>(4)主催者の指示のもと、出展者や関係機関との調整、出展要項や運営マニュアルの作成・共有を行うとともに、広報計画に基づき各種制作物の作成・発信を主導する。</p> <p>(5)当日は受付や誘導、混雑対策、進行管理等を担い、安全対策を徹底した運営体制を構築する。実施後は来場者動向や記録・分析を行い、課題と改善提案を含む報告書を作成する。</p> <p>(6)共通ロゴやハッシュタグ、Jミルクや関係団体の既存コンテンツ等を活用した情報発信の推進ができ、消費者に分かりやすく訴求するコンテンツ企画・制作能力を有すること。</p>	30,000
---	---------------------------------	---	---	------	------------------------------	----------------------------------	--	--------